

2024年10月20日

神奈川県内 小中学校長様
囲碁部・囲碁クラブ顧問・囲碁教室関係者・保護者様

神奈川県中学校囲碁連盟
会長 山我 智康
(横浜市立中山中学校長)

第24回 神奈川県小中学校囲碁選手権大会(団体戦)新人戦

併催 第1回神奈川県小中高校生ペア碁大会 募集要項

目的	1. 神奈川県の小中学生に囲碁の普及をはかる。 2. 団体戦・ペア碁を行うことにより、部員(仲間)同士の結束を高める。
主催	神奈川県中学校囲碁連盟 (kanagawa-jhs-igo.sakura.ne.jp)
後援	神奈川県教育会館 http://kec-y.or.jp/index.html
日時	2024年 12月8日(日) 9:15 集合 13時ごろ終了予定
会場	神奈川県教育会館 3階会議室(ペア碁) 4階大会議室(団体戦) 〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 <電車> 相鉄線「西横浜」駅または京浜急行線「戸部」駅より歩15分。横浜市営地下鉄「高島町」駅より歩25分。<バス> バス停「水道道」バス停より歩15分。
参加定員	【団体戦】約130名(43チーム前後) 【ペア碁】約40名(20ペア前後) (参加定員を超えた場合は、中学校囲碁部を優先し、その他は先着順となります。)
参加資格	【団体戦】県内の同じ学校に在籍している小中学生による3人1組のチーム(中学生は1・2年生のみ)。*2人や4人は不可。*当日3人そろわない時はペア碁に回ります。 【ペア碁】高校3年生以下の二人でペアを結成すること。学校が違って可。一人でフリー参加も可(当日、運営でペア組みをします)。
参加費	【団体戦】1チーム 1,500円(顧問・引率者がまとめ、当日の顧問会議で徴収します。) 【ペア碁】ひとり 500円(各自で当日受付にてお支払いください。)
持ち物	筆記用具、飲み物、昼食、賞状(A4版)入れ、ハンカチ
申込方法	ホームページから申込書をダウンロードし、→(ホームページQRコード)→ 入力作成したファイルを【Eメール添付】で申込先に送る。
申込先 問合せ先	県中学校囲碁連盟事務局 笠井 清隆(横浜市立西金沢義務教育学校) 【Eメール】 kanagawajhsigo@gmail.com
申込期間	2024年 10月28日(月)~11月21日(木) 締切厳守!
参加者への お願い	・一番棋力の高い選手権戦クラスに出場するチームは、標準服、制服、襟付きシャツ等の、少しフォーマルな服装で参加してください。1~3位に入賞すると記念写真撮影があります。 *クラス分けは大会実施約1週間前に、ホームページで発表いたします。 ・対局中のスマートフォン・タブレット端末等の使用は禁止とします。 ・ゴミはすべて持ち帰りです。



個人情報の取扱いについて	大会の成績優秀者は、氏名および学校名、写真、インタビュー記事等を神奈川県中学校囲碁連盟ホームページや囲碁関係の新聞雑誌等に掲載することがあります。不都合があれば、大会事務局までご連絡下さい。
引率の先生へ	・引率の先生方にスタッフとして大会運営の簡単なお手伝いをお願いしています。なお、スタッフの皆様にはお弁当と飲み物を用意しています。顧問会議に必ずご参加ください。
時程(予定)	<p><役員集合・開錠> 8:45 (役員为学校、早く着いた学校で会場設営)</p> <p><全員集合> 9:15厳守 (近隣の迷惑となりますので、8:45より前には到着しないこと)</p> <p><選手受付> 9:15~25 (選手各自で受付へ。3階、4階にて)</p> <p><開会式> 9:30 (各部屋で)</p> <p><対局スケジュール> 1回戦9:45~/2回戦10:35~/3回戦11:25~</p> <p><顧問(スタッフ)会議・参加費徴収> 9:50~10:20 (3F本部にて)</p> <p><盤石・対局時計・机・イスの片付け> 最終局終了後~12:20</p> <p><閉会式> 12:20~12:35 (各部屋で)</p> <p><昼食> 12:40~13:00 * 14:00完全撤退</p>
注意	本大会は全国大会等の上部大会はありません。

競技規定【団体戦】

チームの人数と編成について	<p>① 1チーム3名(主将・副将・三将)による団体戦。2名や4名による参加はできない。</p> <p>② 各校顧問(チーム代表者)の判断で、認定大会等で認定された棋力より上の棋力で申し込むことができるが、認定された棋力より下の棋力で申し込むことはできない。</p> <p>③ 選手は棋力の高い順に主将から並べる。Aチームの三将の次に棋力が高い選手がBチームの主将となり、以下のチームも同様に棋力順に編成する。</p> <p>④ 複数チームが参加する学校で、選手が欠席した場合、下位チームから上位チームへ選手を順に上げて補充できる。その結果3名に満たなくなった下位チームはペア碁大会に参加する。</p> <p>⑤ 遅刻している選手が会場に来ることが確実な場合は、対局開始後、対局時計を進めて待つ。</p> <p>⑥ 申込後の選手変更は、当日朝の受付時のみ。それ以降は変更できない。</p>
クラス分けと対戦組合せについて	<p>① 主将と副将の平均棋力上位のチームから順に、選手権戦、A級戦、B級戦・・・と、事務局の判断でクラス分けをする。(※大会実施1週間前に、ホームページでクラス分けを発表。)</p> <p>② 各クラスとも8チームによるトーナメント戦を基本とする。初めにくじ引きを行う。 * 13路盤または8チームではない場合は、簡易スイス方式や総当たり方式の場合もあり。</p>
対局ルール	<p>① 19路盤を使用する。一番下のクラスでは13路盤を使用することもある。</p> <p>② 対局はすべて互先(コミ6目半)とする。主将が握って先番(黒番)を決め、以下交互に白番、先番とする。例)主将が先番なら、副将は白番、三将は先番。</p> <p>③ 19路盤では対局時計を使用する。選手権戦では、持ち時間15分 + 切れたら1手15秒。他のクラスでは20分切れ負け。対局時計を置く場所は白番が決める。時計は石を打った方の手で押す。アゲハマをたくさん取り上げる時は、いったん時計を止めてもかまわない。</p> <p>④ 問題が生じた場合は、対局中にすぐスタッフに申し出ること。</p>
順位と表彰	<p>・8チームトーナメント表に従い、優勝1チーム、準優勝3チームを決定し、表彰する。</p> <p>・簡易スイス方式、総当たり戦の場合は上位(最大4チーム)を決定し、表彰する。</p>

競技規定【ペア碁】

ルール 持ち時間	13路盤を使用する。ペアの平均棋力により手合い割（ハンデ）を定める（別表参照）。持碁黒勝ち。持ち時間10分切れ負け。	
座る位置	ペア二人のうち、棋力が高い方を①①、低い方を②②とし、大会名看板に向かって左側に①①、右側に②②が座る。 (ペアが同棋力の場合は、どちらが①①か決めておく。)	
対局時計の位置と操作	対局時計は①①の側に置く。 対局時計の操作は、①①のみが行う。	
着手の順番	(互先) 黒① → 白① → 黒② → 白② → あとは同じ順番の繰り返し (置き碁) (1手目は黒①を飛ばして) 白① → 黒② → 白② → 黒①に戻って、あとは同じ	
順番間違い「誤順」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順番間違いは、次の着手までに指摘された場合のみ、罰として3目を相手に渡し、その着手は有効とする。その後、順番を飛ばされた人が、自分たちの番で2回連続着手し順番を戻す。 ・ 次の着手が済んだ後に、順番間違いに気づいた場合は、間違った順番のまま対局を継続する 	
マナー	自分の番ではないときは、碁石を持ってはいけない。(順番間違いを防ぐためにも)	
反則	言葉、身振り等でペアに意志の伝達をしない。(トイレ等で) ペアが同時に離席しない。	
終局	4人全員が連続してパスをしたら、終局となる。	
整地・投了	整地および投了は、ペアのうち①①の選手だけが行うことができる。	
大会方式	参加ペア数により、トーナメント方式、簡易スイス方式、総当たり方式のいずれかで行う。	
順位と表彰	成績優秀(全勝を基本とする)のペアを表彰する。	

ペアの平均棋力の計算方法

級数はそのまま、段数は右の表の数を、足して2で割る。

初段	二段	三段	四段	五段
0	-1	-2	-3	-4

例) 2級と4級のペア: $2 + 4 = 「6」$ を2で割って、平均棋力は「3」

1級と四段のペア: $1 + (-3) = 「-2」$ を2で割って、平均棋力は「-1」

初段と三段のペア: $0 + (-2) = 「-2」$ を2で割って、平均棋力は「-1」

ペア碁の手合い割(ハンデ)

棋力差	なし	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
置石	なし	なし	なし	2子	2子	3子	3子	4子	4子
コミ出し	黒6目	なし	白6目	なし	白6目	なし	白6目	なし	白6目

4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0
5子	5子	6子	6子	7子	7子	8子	8子	9子	9子
なし	白6目								

団体戦のチーム編成のルールについて

*2024年10月修正「

募集要項では詳しくご説明することができず、結果として、毎年申込時の団体戦のチーム編成の仕方についてご説明いたします。

7人の部員がいる学校を例として、ご説明します。

直近の段級位認定大会で認定された段級位が、次のようだったとします。
常石 8級、小池 8級、奥田 10級、小山 12級、安田 14級、辻 & 飛田は大会

× 認定された級通りにAチームから並べたが、実際の実力と違う

Aチーム

主将	常石	8級
副将	小池	8級
三将	奥田	10級

Bチーム

主将	小山
副将	安田
三将	辻

飛田

ルールでは、強い選手から順にAチームから編成することとなっています。
常石と小池は同じ8級ですが、常石の方が少し強いと言うので、常石を主将に選出。
また、部員が7人なので、3人チームで一人余ってしまいます。

辻と飛田はどちらもまだ認定級がない初心者ですが、辻の方が少し強い。
顧問の判断で辻を23級、安田を25級とし、安田はペア碁大会に参加となる。
ところが、メンバーを発表したところ、部員から次のような意見が出ました。

「先生、小山さんは奥田さんより強いです。部内で対戦すると必ず小山さんが勝つので、小山さんを主将に選出してください。」

× 実際の実力通りだが、ルール違反（認定された級よりも下げてしま

Aチーム

主将	常石	8級
副将	小池	8級
三将	小山	12級

Bチーム

主将	奥田
副将	安田
三将	辻

飛田